

概 況

令和8年度8月末までの事故の傾向についてお知らせします

○労働傷害（死亡1件、傷害1件）

4月の死亡事故は敷鉄板による挟まれ、7月の傷害事故はコンクリート圧送配管の破損による目へのコンクリート飛来によるものでした。

○公衆傷害（死亡0件、傷害0件、物損16件）

物損の主なものは、草刈りの時期であるため飛石飛散が6件と最も多く、次いで、地下埋設物損傷と架空線の切断が各3件ありました。

これらの事故を他人事とせず、防止対策を工夫して「事故ゼロ」を目指しましょう。

一現場・安全ひと工夫

除草作業の安全と飛び石防止対策

◇防護装備の装着

作業員は安全ベスト、ヘルメット、防護眼鏡等を装着する。草刈機には飛散防護カバーをつける。

◇着手前の現地調査

あらかじめ飛散しそうな石などの障害物を確認し、除去または目印をつける。

◇草刈機の設定

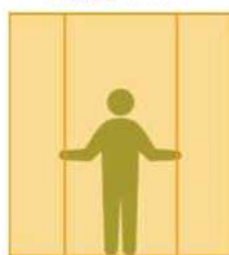
小石が多い所や交通量が多い所は、飛び石を抑制させるバリカン型草刈刃を装着する。状況に応じて、鎌などの手工具の使用も検討する。



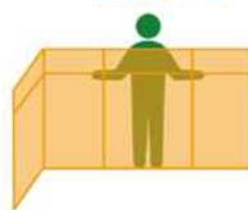
◇飛散防止ネット

刃の回転方向により、飛び石方向や角度を想定し適切に配置する。高所などの作業では大型ネットを使用し、飛び石が跳ね返りそうな狭い場所では、L型ネットを使用する。

広範囲
防護ネット



L型
防護ネット



◇作業員への伝達

車両や通行人が接近した際は、笛（電子ホイッスル）を使用し、作業員へ確実に伝達する。作業員は通過するまで作業中断を徹底する。

A-press について

『A』は、ずばり安全（Anzen）の“A”

『A』は、アルファベットの最初の文字
工事等に当たり、安全は最も優先されます。

安全意識の向上と情報共有のために、
工事等の受発注者に毎月発信していく予定です。

【令和8年4～8月の工事等事故】

- 1 河川工事において、敷鉄板の吊り金具を取り換える際に、鉄板がバランスを失い作業員が挟まれた死亡事故
- 2 建築工事において、生コンクリートをポンプ車で圧送中に配管が破損し、コンクリートが目に入った傷害事故
- 3 道路維持業務において、除草作業中にネット脇から小石が飛散し通行車両の窓ガラスを割った物損事故
- 4 護岸工事において、単管杭を打設した箇所に市の給水管が埋設されており、漏水させた物損事故
- 5 区画整理工事において、バックホウで碎石をすくいブームを上げたまま移動中に架空線を切断した物損事故